

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2002-186219 (P2002-186219A)
 【公開日】平成 14 年 6 月 28 日 (2002.6.28)
 【出願番号】特願 2000-379431 (P2000-379431)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 2 K 7/10
 D 0 6 F 39/08
 H 0 2 K 7/11
 H 0 2 K 7/116

【F I】

H 0 2 K 7/10 C
 D 0 6 F 39/08 3 1 1 F
 H 0 2 K 7/11
 H 0 2 K 7/116

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 5 月 27 日 (2004.5.27)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 5 3】

なお、上述の実施の形態は、本発明の好適な実施の形態の例であるが、これに限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲において、種々変形実施可能である。例えば、上述したように本実施の形態では、ロータマグネット 1 1 b の内周面にリング状マグネット 1 1 c を直接的に接着固定し、リング状マグネット 1 1 c のされに径方向内側に非磁性導電リング 1 6 a を配置する構成とした。しかし、図 6 に示すように、リング状マグネット 1 1 c をロータマグネット 1 1 b から径方向内側に離間させて配置するようにし、この離間部分（図 6 中の G 部分参照）に非磁性導電リング 1 6 a を配置するようにしても良い。このようにすると、両マグネット 1 1 b、1 1 c が離れているため、互いに磁力が影響し合わないものとなる。したがって、磁力の影響を考慮しての位置決めの必要もなくなる。